

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 4 北上川	北緯40度線は、日本の東北地方（秋田県や岩手県）を横断しています。この緯線上をアジア大陸から東へ移動すると、中国の黄河を越えた次に日本列島の北上川と交差します。石狩川は北海道、信濃川は中部地方、筑後川は九州地方を流れる河川であり、北緯40度線とは交差しません。
問2	答え 3 冬の降水量は季節風の影響を受ける秋田市の方が多く、夏の平均気温はやませの影響を受ける宮古市の方が低い。	秋田市は冬に北西の季節風の影響を受けて降水量（降雪量）が多くなります。一方、宮古市は夏に冷たく湿った風（やませ）が吹き込むため、奥羽山脈の西側にある秋田市に比べて夏の平均気温が低くなる傾向があります。
問3	答え 2 かきやわかめの養殖	リアス海岸は、山地が沈水してできた複雑な入り江を持つため、波が穏やかで養殖に適した環境を作り出しています。岩手県はこの地形を活かし、かきやわかめ、ほやなどの養殖業が全国的にも有名です。
問4	答え 3 やませ	オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東の風を「やませ」と呼びます。この風が初夏に東北地方の太平洋側に吹き込むと、曇天が続いて日照時間が不足し、気温が上がらないために、稲作に深刻な影響を与える冷害が発生します。
問5	答え 1 岩手県	東北地方の太平洋側に面した岩手県の沿岸部は、北部に「リアス海岸」として知られる三陸海岸があります。この地域は水深が深く、親潮（寒流）と黒潮（暖流）がぶつかる潮目（潮境）に近いため、世界的な漁場として知られています。隣接する宮城県や青森県と混同されやすいですが、リアス海岸の代表的な地域として岩手県を特定することが重要です。
問6	答え 3 日本海側から湿った空気を運ぶ季節風が山脈にぶつかり、日本海側で多くの雪を降らせる。	冬、水分を豊富に含んだ北西の季節風が奥羽山脈にぶつかることで、山脈の西側（日本海側）では世界有数の豪雪地帯が形成されます。一方で、山脈を越えた東側（太平洋側）では水分を失った乾いた風が吹くため、晴天が多く乾燥した気候となります。
問7	答え 1 青森県	青森県は、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした漁業と、冷涼な気候を利用したリンゴなどの果樹栽培の双方が全国トップクラスの規模を誇っています。統計上、漁業生産量と果実産出額の双方が全国トップ5に入るといって、一次産業において極めてバランスの取れた高い生産力を持つことが特徴です。
問8	答え 4 産業構造の変化や都市機能の更新に伴い、工場の跡地が別の用途へと転換された。	時代が異なる地形図を比較することで、特定の土地における役割の変化を捉えることができます。例えば、仙台市の港湾付近のように、かつての工場跡地に新たな建築物が建てられている場合、それは産業の移転や老朽化、あるいはより効率的な土地の高度利用を目指す都市再開発が行われたことを示しています。このように、地形図から読み取れる情報の変化は、その地域の社会経済的な動向を反映しています。
問9	答え 4 社会を支える労働力となる生産年齢人口が減少し、社会保障などの負担が相対的に大きくなること	秋田県は日本国内でも特に高齢化が進行しており、65歳以上の割合（高齢化率）が非常に高い一方で、経済活動の中心となる15歳から64歳の「生産年齢人口」が減少しています。このような少子高齢化が進行した社会では、高齢者を支える現役世代の負担が増し、社会保障制度の維持や地域産業の労働力不足が大きな課題となります。
問10	答え 1 東北地方唯一の政令指定都市であり、国や企業の出先機関が集まる支店経済都市としての側面を持つ。	仙台市は宮城県に位置する東北地方最大の都市です。東北地方全体の経済や行政を統括する国の出先機関や企業の支店が多く集中していることから、広域中心都市としての性格が強いのが特徴です。選択肢にある盛岡市は岩手県、福島市は福島県、山形市は山形県の県庁所在地であり、それぞれ異なる特徴を持っています。
問11	答え 4 青森市	夏に冷たく湿った北東風（ヤマセ）の影響で気象条件により霧が発生しやすい特徴を持つ都市は青森市です。秋田市は日本海側に位置し、冬に降水量（降雪）が多くなる特徴があります。
問12	答え 4 福島県は、東北地方に属しながら関東地方の県と境界を接している。	東北地方は6つの県で構成されていますが、その中で関東地方（茨城県、栃木県、群馬県）と直接陸上で接しているのは福島県のみです。宮城県や山形県は福島県よりも北に位置するため、関東地方の県とは接していません。このような隣接関係を理解することは、地方区分や物資の輸送ルートを把握する上で重要です。
問13	答え 3 雪が多く冬の間は農作業ができないため、屋内でできる副業として行われたから	東北地方などの日本海側は、冬に季節風の影響で雪が多く降る豪雪地帯が多く見られます。そのため、冬の期間は屋外での農作業ができない状態が続きます。農家の人々は貴重な現金収入を得るために、農閑期となる冬場に屋内で地元の資源を使った漆器や木工品などを作るようになり、これらが伝統的工芸品として各地に定着しました。
問14	答え 2 やませによる冷夏の発生	三陸海岸をはじめとする東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹くことがあります。この風が吹くと、本来気温が上がるはずの夏季に気温が低く抑えられる「冷夏」となり、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生する原因となります。